

# 北米由来の侵入外来雑草と日本の農業

浅井 元朗 氏

(農研機構・東北農業研究センター)

9月17日(木)16:00-17:00

理学部 V号館 2階 5206号室

日本には毎年海外から多くの外来植物が入りこみ続けています。畑や牧草地にも帰化アサガオ類、アレチウリ、オオオナモミ、イチビといった外来の雑草が繁茂し、農作物の生育や収穫に害を及ぼす例が増えています。その多くは、北アメリカなどから輸入してきた穀物に種子が紛れ込んで日本に持ち込まれたものです。港に運び込まれた外来雑草が、なぜ、畑や草地に広がって、被害を引き起こしているのでしょうか。そこには私たちの社会のしくみや、農業、農村の変化と大きな関わりがあります。雑草のありさまを見つめることは、人間と自然の関係、暮らしを見つめることでもあります。今回は農地にはびこる外来雑草とその背後にある問題、そしてこれからの課題について紹介します。

